

2025 年 6 月 22 日 (日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第 68 巻第 10 号 (通算 3447 号)

教会設立 1959 年 6 月 14 日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺 6 丁目 7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

ちい ひと
小さくされている人を
たいせつ きょうかい
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

せいれいこうりんせつ
聖霊降臨節

だい しゅじつれいはい
第3主日礼拝

れいはい ちゅうけいはいしん
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

ぜんそう もくとう
前奏 (黙祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば
招きの詞 エゼキエル書 18 章 31-32 節

さんび かん ばん うた
賛美歌 21-182 番「ほめうた歌え」(©JASRAC)

せいし しょ しょう せつ
聖書 使徒言行録 17 章 22-34 節

いの
お祈り

さんび かん ばん き きょうだんしゅつばんきょく
賛美歌 21-444 番「気づかせてください」(©教団出版局)

ひく みなお うしだ ただし ぼくし
メッセージ「低みからの見直し」 牛田 匡 牧師

さんび かん ばん まね こた
賛美歌 21-448 番「お招きに応えました」(©JASRAC)

しゅ いの ばん てん ちち さんび かかいていいんかい
主の祈り 21-62 番「天にいます わたしたちの父」(©讃美歌改訂委員会)

ささげもの
献げ物 (*)

は け ばん かみ めぐ う せつ
派遣 21-91 番「神の恵みゆたかに受け」(1 節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく うしだ ただし ぼくし
祝福 牛田 匡 牧師

こうそう ばん きょうだんさんびかいいんかい
後奏 アーメン コーラス (21-40-6 番) (©教団讃美歌委員会)

ほうこく ページ さんしょう
報告 (4 頁をご参照ください)

せき すわ れいはい さんか
《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

うけつけ けんきんばこ
* 受付に献金箱がございます。

ささげもの けんきん ようい かた ささ
「献げ物 (献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 エゼキエル書 18 章 31－32 節（聖書協会共同訳）

³¹「あなたがたが^a私に対して行ったすべての^{そむ}背きを投げ捨て、自ら新しい心と新しい霊を造り出せ。イスラエルの家よ、どうしてあなたがたは死のうとするのか。
³²私は誰の死をも喜ばない。立ち帰って、生きよ——主なる神の^{おお}仰せ。」

（脚注 a：LXX による。ヘブライ語原典では「彼らに対して」）

聖書 使徒言行録 17 章 ^{しょう}22－^{せつ}34 節（聖書協会共同訳）

²²パウロは、アレオパゴスの真ん中に立って言った。「アテネの皆さん、あなたがたがあらゆる点で信仰のあつい方であることを、私は認めます。²³道を歩きながら、あなたがたが^{おが}拝むいろいろなものを見ていると、『知られざる神に』と刻まれている祭壇さえ見つけたからです。それで、あなたがたが知らずに拝んでいるもの、それを私はお知らせしましょう。²⁴世界とその中の万物とを造られた神が、その方です。この神は天地の主ですから、人の手で造った神殿などにはお住みになりません。²⁵また、何か足りないことでもあるかのように、人の手によって仕えてもらう必要もありません。すべての人に命と息と万物とを与えてくださるのは、この神からです。²⁶神は、一人の人からすべての民族を造り出して、地上の全域に住まわせ、季節を定め、その居住地の境界をお決めになりました。²⁷これは、人に神を求めさせるためであり、また、彼らが探し求めさえすれば、神を見いだすことができるようにということなのです。実際、神は私たち一人一人から遠く離れてはおられません。^{28a}私たちは神の中に生き、動き、存在しているからです。皆さんのうちのある詩人たちも、『我らもその子孫である』と言っているとおりです。²⁹私たちは神の子孫なのですから、神である方を、人間の技や考えで刻んだ金、銀、石などの像と同じものと考えてはなりません。³⁰さて、神はこのような無知な時代を大目に見てくださいましたが、今はどこにいる人でも皆悔い改めるようにと、命じておられます。³¹先にお選びになった一人の方によって、この世界を正しく裁く日をお決めになったからです。神はこの方を死者の中から復活させて、すべての人にそのことの確証をお与えになったのです。」

³²死者の復活ということを聞くと、ある者は嘲笑い、ある者は、「それについては、いずれまた聞かせてもらうことにしよう」と言った。³³それで、パウロはその場を立ち去った。³⁴しかし、彼に付いて行って信仰に入った者も、何人かいた。その中にはアレオパゴスの議員ディオニシオ、またダマリスと言う女やその他の人々もいた。

（脚注 b：別訳「我らは神の中に生き、動き、存在する」からである）

「重荷を負っても生きる」より

牛田匡牧師

聖書 マタイによる福音書 11 章 25－30 節

イエス様は、日々に、苦役や差別、様々な苦難という軛（くびき）を負っていた人たちに対して、「私の所に来たら、あなたたちの軛を外してあげましょう」とは、言われませんでした。なぜなら、私たちの日々の生活の中から、重荷が一切無くなる、ということはないからです。もしも「一切無くなりました」と言ったら、それは見て見ぬふりをしているだけの嘘でしょう。イエス様は「私の軛を負い、私に学びなさい～私の軛は負いやすく、私の荷は軽いから」（29-30）と言われました。この「負いやすく」という言葉は、「楽である」「心地好い」「適した」とも訳せる言葉です。例えば、自分の足のサイズと靴のサイズがぴったりと合っていたら、無理がなく楽で心地好いように、軛が自分の肩や首の形にぴったりとフィットしていたら、大きな荷物でも意外と軽々と担えることがあるのだと思います。また古代イスラエル社会における「軛」は、二頭立てだったようです。ですから、「私の軛を負いなさい。それはあなたに適している」という言葉には、「あなたの隣に、あなたと共に軛を負う仲間・助け手も備えましょう」ということも含まれているとも考えられます。

重荷から目を逸らして、見て見ぬふりをするのではない。抑圧者側、他人の足を踏みつける側、権力者側に立って、自分自身に嘘をつくのでもない。イエス様のように、神様と共に、神様に助けられながら、事実を目を向けて、その荷が重くても、一步ずつ歩みを進めていこう。なぜなら、その軛はあなたにフィットしていて、さらにまたあなたの隣には、あなたと共に軛を負う仲間がいるから……。そのようにイエス様の後に従って歩む時、私たちは重荷を負っても、なお生きていくことが出来るという奇跡、神様の働きを見せてもらえるのではないかと思います。単純に、今日よりも明日の生活が楽になり、重荷がどんどん軽くなる、というようなことは、単なる嘘だった、ということに気が付いてしまった現代です。そのような時代だからこそ、私たちは自分の肩に載っている重荷、また隣の人の肩に載っている重荷に目を向けていきたいと願います。そして、そのような重荷を負う中に共にいてくださる神様、また世の中から、価値がないと見なされて、見放されているものの中にこそ、神様の力が働くということ、認めていきたい、確かめていきたいと願います。そこにこそ、これからの時代の教会の夢があるのだと思っています。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025 年 6 月 15 日 教会創立記念礼拝

礼拝出席 大人 6 人 献金 大人 5,200 円 中継視聴者数 17 回 感謝
・ 6 月 20 日 (金) さんが転倒により左脚の大腿骨を骨折され、病院に入院
中です。明日 23 日 (月) に手術の予定です。お祈りください。

◎次週 2025 年 6 月 29 日 (日) 聖霊降臨節第 4 主日礼拝

招きの詞 詩編 67 編 7-8 節

聖 書 ヨハネの手紙 I 1 章 5-10 節

メッセージ 「神は光。光の中を共に歩む」 牛田匡牧師

礼拝の中で、今年度 6 月にお誕生日を迎えられた方々を祝福いたします。

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ (全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分を YouTube でご覧いただくことも可能です。
- ・本日の礼拝後に、釜ヶ崎支援のために「おにぎり作り」を行い、いこい食堂にお届けします。どなたでもご参加ください。お米の価格の高騰や、品薄の状態が続いています。いこい食堂を始め、釜ヶ崎で支援活動を行っている諸団体でもお米の献品を募集されています。お米に限らず、献品や献金をいつでも受け付けています。
- ・本日 6 月 22 日 (日) 18 時～21 時と翌 23 日 (月) 8 時半～12 時半にかけて、天満教会 (地下鉄「南森町」駅下車・徒歩 5 分) にて、日本基督教団性差別問題連絡会 第 20 回全国会議 in 大阪が開催されます。テーマは「ええ加減にせえ、家父長制～このモヤモヤを誰かに伝えたい～」です。22 日には 4 人の方からの発題があり、その後参加者がグループに分かれて、グループごとの話し合い、交流会があります。参加費は部分参加が 1,500 円、全参加が 3,000 円です。申込期間は終わっていますが、当日参加についても直接お問い合わせください。
- ・6 月 24 日 (火) 17 時～18 時 40 分にかけて、関西学院大学 (兵庫県西宮市) にて人権問題講演会が開催されます。講演題は「へーそうなんや、ほんで? ～共感から共生へのいざない～」、講師は青木理恵子氏 (特定 NPO 法人 CHARM 事務局長) です。西宮上ヶ原キャンパスでの会場参加の他、ZOOM を利用してのオンライン参加も可能です。申込は不要です。直接、下記の ID: 930 0641 8562、パスコード: 998180 を入力してご参加ください。



◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
6/29	牛田匡牧師	誕生者祝福式
7/6	牛田匡牧師	ユーカリスト・教会を考える会
7/13	牛田匡牧師	部落解放祈りの日・おにぎり支援?
7/20	牛田匡牧師	

関西学院大学主催
春季人権問題講演会



へーそうなんや、ほんで? ～共感から共生へのいざない～

◆ 2025年6月24日 (火)

● 17時00分～18時40分

西宮上ヶ原キャンパス G 号館 326 教室

および オンライン同時配信

あおき りえこ

◆ 講師/ 青木 理恵子氏
(特定非営利活動法人 CHARM 事務局長)

◆ 参加方法/
【会場】事前申し込み不要
【オンライン】詳細は下記の URL または
QR コードからご確認ください。
<https://kg-humanrights.jp/rfhjwgwd>



* 本講演会では、手話通訳・パソコンテイクによる情報保障を予定しています。
また、講演会は録画し、後日、字幕をつけた動画を本学 Web サイト等で配信する予定です。

■講演内容

日本に暮らす外国籍住民の数は毎年増加しておりその数は、376万9千人 (2024年末推定) に達しました。政府が想定していた増加数を大きく上回っており (前年比10.5%増加) その傾向はこれからも続く見込みです。日本ではその昔外国籍住民を「ガイジン・外人」と呼んでいました。国と向かってこの言葉を言わなくても、外国人に対して同じ認識が残っていないでしょうか?

私は日本に暮らす外国人の人たちが健やかに生活できるための環境づくりを仕事としています。外国籍の中には、病気や障害や経済的困窮を味わながら生きている人たちがいます。未婚妊娠を宣告された人も居ます。それぞれの人の状況やその人の病の受け止め方などには実に多様です。相手に聞いていくこと、対話することによって初めて分かることがたくさんあります。話を聞くことによって生まれる共感と共生について考えたいと思います。

■講師紹介

神奈川県出身。国際基督教大学大学院修士課程キリスト教団体YWCA専攻として東京、京都で18年間勤務。京都では外国人の支援活動 Asian People Together (APT) を担当し移民の福祉の促進を開始した。2000年に近畿圏パサールカフス創設。CHARMの創設に関わり外国籍住民や HIV を持ちながら生きる人々をコミュニティの中で支える活動を行ってきた。

* 車いすでご来場の方は、お席の配慮等を行いますので事前にご連絡ください。

総合テーマ

「インクルーシブな
社会の実現を
目指して」
(2025～2029年度)

関西学院大学人権教育研究室

Tel. 0798-54-6720 / Mail : human-rights@kwansai.ac.jp